

令和3年度

事業報告書

社会福祉法人そてつ会

- ( 法人本部 )
- ( 障害者支援施設 竹山苑 )
- ( 相談支援事業所 ともいき )
- ( 放課後等デイサービス カラット )
- ( 特別養護老人ホーム 涼松 )
- ( 通所介護支援事業所 岡村さん家 )
- ( 岡村さん家居宅介護支援事業所 )

# 目 次

○ 法人本部	1
○ 障害者支援施設竹山苑	4
○ 相談支援事業所ともいき	9
○ 放課後等デイサービス カラット	14
○ 特別養護老人ホーム涼松	16
○ 通所介護支援事業所岡村さん家	20
○ 岡村さん家居宅介護支援事業所	23

# 法人本部

## 1 重点項目における評価と課題

### (方針1) 危機管理体制を確立しよう

情報を一元化し、各事業所で発生した問題を法人間で速やかに共有します

#### 【評価】

職員の出勤停止や移動制限、外出等における行動基準を定めた理事長メッセージや週単位の市町村感染者状況を定期的に発信し、職員の協力のもと、感染症の発生は最小限に抑えることができた。

各事業所の代表者、担当者による法人会議や代表者会議の実施により、事業所間の情報共有を図った。

#### 【課題】

事業所間の職員派遣、人事交流についてはコロナの影響で難しい状況ではあるが、施設運営に係る情報共有と合わせて継続して検討していかなければならない。

事業継続計画の策定等が全ての事業所に義務化された。3年の経過措置期間があるが、各事業所連携しながら早期に策定し、研修やシミュレーションの実施等行っていくことが必要である。

### (方針2) 信頼される社会福祉法人を目指そう

地域と協働で支え合う社会づくりに貢献します

#### 【評価】

南九州市から生活困窮者子どもの学習・生活支援事業を受託し、生活困窮世帯の子ども等を対象に実施したが、新型コロナウイルス感染症の拡大等により、前年度よりさらに回数が減ってしまった。南九州市におけるそよ風事業の実施も厳しい状況であった。

法人広報誌は予定どおり年1回発行、ホームページには事業所の広報誌を定期的に掲示し、フェイスブックも随時更新することができた。

#### 【課題】

地域貢献活動については十分な感染症対策に努めながら実施しているところであるが、近隣での感染者発生や感染拡大の際にどう対応すべきか、実施についてどう判断するか、難しい状況が続いている。

法人広報誌の配布先の検討やホームページ、フェイスブック更新頻度、アクセス数の把握など、各事業所と連携しながら広報について検討が必要である。

### (方針3) 経営の安定化を図ろう

人材確保と就労環境の改善に努めます

#### 【評価】

人材確保について、就職ガイダンス等ではコロナの影響もあって十分な成果を得られなかったが、実習生の受け入れ等から複数の新規学卒者を確保することができた。外国人労働者の雇用については、就労に向けてオンライン面談等を継続している。

就労環境の改善については、処遇改善手当や非常勤職員の同一労働同一賃金を踏まえた給与規程の一部改正を行ったが、さらなる改善の余地が残されている。

#### 【課題】

介護保険事業所の収益改善が喫緊の課題となってきた。一事業所の問題としてではなく、法人全体で稼働率アップや業務見直し等、検討していくことが必要である。

## 2 主な実績概要

### (1) 職員数（令和4年3月31日現在）

	正職員	非常勤	計
本部	1	1	2
竹山苑	29(4)	21	50(4)
ともいき	3(1)	0	3(1)
カラット	5(3)	1	6(3)
涼松	29(1)	24	53(1)
岡村さん家通所	4	6	10
岡村さん家居宅	2(1)	0	2(1)
合計	68	53	121

※ カッコ内は兼務者、内数

### (2) そてつ会における離職率

	竹山苑	ともいき	カラット	涼松	岡村さん 家デイ	岡村さん 家居宅	全体
常勤	7.1%	0%	0%	6.9%	0%	0%	7.5%
非常勤	17.4%	0%	0%	4.3%	33.3%	0%	14.8%
計	13.7%	0%	0%	5.8%	20.0%	0%	10.7%

※ 年度当初の職員数に対する離職者の割合（3月31日退職を含む）

(3) 資格保有職員数 (令和4年3月31日現在)

	介護 福祉士	社会 福祉士	ケア マネ	看護師	准 看護師	管理 栄養士	栄養士	保育士
本部	0	1	0	0	0	0	0	0
竹山苑	22(3)	3(3)	2(2)	1	1	0	1	2
ともいき	2	3(1)	3(1)	0	0	0	0	0
カラット	4(3)	3(2)	2(1)	0	0	0	0	2
涼松	21(1)	1	3(1)	4	3	1	0	1
岡村さん家デイ	4	0	1	1	2	0	0	1
岡村さん家居宅	2(1)	1	2(1)	0	0	0	0	0
合計	51	9	10	6	6	1	1	6

※ カッコ内は兼務者、内数

(4) 法人会議の実施

3回 (6月3日、9月9日、3月17日)

(5) 代表者会議の実施

4回 (5月26日、1月7日、2月7日、3月10日)

(6) 役員会等の実施

ア 理事会 5回 (6月3日、6月24日、9月9日、1月28日、3月17日)

イ 評議員会 2回 (6月24日、3月25日)

ウ 監事監査 竹山苑・ともいき (5月20日)

涼松・岡村さん家 (5月18日)

エ 評議員選任・解任委員会 (6月4日)

(7) 研修

ア 職場内研修 なし

イ 職場外研修

5月17日 経営協総会時研修

7月27日 社会保険事務担当者研修会

11月2日 経営協「社会福祉法人会計研修」(オンライン)

1月19日 改正育児・介護休業法・同一労働同一賃金等のオンラインセミナー

2月2日 経営協会会計研修 (オンライン)

(8) 地域との関わり

学習支援事業 (7回) 4月17日、6月19日、7月17日、10月16日、

11月27日、12月18日、3月19日

7月6日 南九州市見守り安心ネットワーク会議

12月3日 学習支援事業運営会議

# 障害者支援施設 竹山苑

## 1 重点項目における評価と課題

### (方針1) 危機管理体制を確立しよう

様々なリスクに対応できる組織作りを行います

#### 【評価】

毎月の推進会議で事業継続計画の検討を行うとともに、看護協会から2名の認定看護師派遣指導を受けるなど、感染予防対策に取り組んだ。さらに、居室洗面所を自動水栓に変え、また、顔認証型自動検温器等の非接触機器を導入し、感染リスクの軽減に努め、感染者の発生を最小限に抑えることができた。

また、感染症に関しては、SNS 活用等により職員間の情報共有化に努め、迅速かつ適切に対応することができた。

建物の老朽化対応としては、雨漏り補修工事や館内空調機器の更新を行った。大規模修繕の検討会も複数回行ったが、継続審議となった。

#### 【課題】

感染症発生時の対応も含めて、事業継続計画を早期に策定する必要がある。

利用者居室エアコン等、各所の故障が年度を超えて継続中である。

補助金申請を伴う改修計画立案を目指したが実現に至らず、中長期計画立案が今後の課題である。

### (方針2) 信頼される社会福祉法人を目指そう

必要とされる施設づくりに取り組みます

#### 【評価】

生活介護の支援体制を改変し、また、居宅介護事業担当者や放課後デイサービス兼務職員を増員して在宅障害児者への支援充実を図った。

農作業やオンラインツアーの機会を提供したり、感染症が下火の時期には外部講師やキッチンカーを招き入れたり、さらには家族や県内他施設に転居された利用者とのオンライン面会を継続的に設定するなど、それぞれの利用者に応じた取組を進め、生活の質向上に努めた。また、今年度は3人の利用者の看取り支援を行うことができた。

自立支援協議会の活動にはオンラインで参加した。

#### 【課題】

入所の利用者と生活介護や放課後等デイサービス利用者との交流について、コロナの影響で困難な状況ではあるが、工夫しながら交流を図っていく必要があると考えている。

家族等との関係において、1年をとおして面会がない方が17名おり、働きかけの工夫が必要である。

### (方針3) 経営の安定化を図ろう

利用者と職員を元気にします

#### 【評価】

利用者の健康維持と関係機関との連携等で入院・欠員を最低限に抑えられ、入所利用は97.4%となった。居宅介護利用は25%増加した一方、生活介護のみや日中一時支援・短期入所の利用者は減少した。

県の「多様な働き方推進モデル創出事業」を受託してICT化を進め、職員間の情報共有促進に取り組んだ。

#### 【課題】

在宅支援も含めて障害福祉サービスが必要な方への情報提供や、知的障害者や精神障害者等の受入れについての努力が課題である。

3年度も腰痛等の病欠者が複数いた。導入したIT機器等の更なる活用やノーリフトケアを推進し、働きやすい職場環境づくりが必要である。

## 2 主な実績概要

### (1) サービス利用状況

事業所名	定員	令和2年度		令和3年度	
		延利用	稼働率	延利用	稼働率
入所	50名	17,746名	97.2%	17,768名	97.4%
生活介護のみ	10名	1,947名	72.4%	1,861名	71.6%
日中一時支援		192名		178名	
短期入所	6名	613名	28.0%	607名	28.0%
居宅介護		589名		737名	

### (2) 事故、ヒヤリハット

ア 事故	183件
イ ヒヤリハット	152件
ウ 行政報告	3件

### (3) 苦情・相談 3件

### (4) 家族等の面会

年間回数	0	1	2～5	6～11	12以上	計
人数	17	6	16	7	3	49

(5) サークル活動

学習・・・毎週 1/月曜 書道・・・毎週 1/火曜

※学習と書道に関しては外部講師サークルにて感染警報ステージ 3 以上で中断

R3 年度実施した期間・・・7/13～8/8、10/11～1/19 までの期間実施

麻雀・・・毎週 1/木曜

(6) ボランティア受入 なし

(7) 実習受入 1 件

鹿児島医療技術専門学校 2 名 5/24～6/8

※国際大学介護実習受入れ予定、感染警報ステージ 4 以上にて受入れできず

(8) 研修

ア 職場内研修

4 月 動画配信 入所施設の利用者像の変化とこれから

5 月 動画配信 利用者にやさしい施設とは～新しい利用者受入れ概要編  
 利用者にやさしい施設とは～新しい利用者受入れ実践編  
 利用者にやさしい施設とは～新しい利用者受入れ日常編  
 利用者にやさしい施設とは～新しい利用者受入れイベント編

6 月 事例検討会

7 月 介護技術研修 利用者ポジショニング実践  
 動画配信 移乗・移動動作について

8 月 事例検討会

9 月 事例検討会

10 月 事例検討会

12 月 事例検討会

イ 職場外研修

6 月 実習指導者養成講習会 生活支援員 1 名

7 月 介護の入門的研修 生活支援員 1 名

身体拘束・虐待防止研修 生活支援員 1 名

九障協 リーダー職員研修 課長・生活支援員 1 名 ※オンライン

鹿児島県重症難病医療ネットワーク連絡協議会研修 栄養士 ※オンライン

8 月 令和 3 年度チームリーダー養成研修「中堅職員の役割」※キャンセル

令和 3 年度サービス管理責任者研修 生活支援員 1 名 ※オンライン

10 月 実習指導者養成講習会 生活支援員 1 名

11 月 九障協 サービス提供職員研修・事例発表 課長 ※オンライン



- 12月 鹿児島県医療的ケア児受入れ体制構築推進 webセミナー 課長  
 1月 虐待防止・権利擁護研修 生活支援員1名 ※動画配信  
 介護セミナー 仕事に対する慣れを考える ※オンライン予定延期 R4年度  
 2月 安全管理者講習会 事務長 ※web  
 管理職研修 事務長 ※zoom  
 高次脳機能障害・介護セミナー・介護福祉基本研修 ※オンライン延期  
 九障協研究大会～分科会座長 苑長 ※オンライン

(9) 防災対策

ア 防災訓練

- 4月 防災教育  
 5月 公用車使用時事故対応  
 6月 風水害訓練  
 7月 夜間想定避難訓練 分遣所合同  
 8月 夜間想定所在不明訓練  
 9月 応急救護訓練 ※抗原検査キット使用  
 10月 昼間想定不審者対応訓練  
 11月 昼間想定避難訓練 分遣所合同  
 12月～1月 感染症対応実践  
 2月 夜間想定避難訓練 ※施設内感染にて中止  
 3月 年度反省・次年度計画について

イ 消防用設備等点検

年2回実施(8月、3月)

(10) 設備管理

購入・工事(10万円以上)

名 称	数 量	金 額
空調機(利用者居室用)	12台	1,785,520円
空調機(リハビリコーナー・ADL室)	3か所	1,584,000円
ナースコール設備センサー連動工事	1式	1,320,000円
館内WIFI構築、工事	1式	898,502円
管理棟雨漏り補修工事	1式	550,000円
パソコン	5台	526,840円
本館洗面所・乾電池式自動水栓取替	9か所	484,000円
公用車ミライース(居宅介護用)	1台	439,494円
ベット固定型リフト	1台	433,800円
自家発電装置部品交換	1基	433,290円
アイフォン	10台	375,000円
排水ポンプ取替	2基	257,400円

火災通報装置	1台	198,000円
食堂用テレビ	1台	165,110
灯油ボイラー	1台	152,900
本館トイレ手すり取替え	1か所	125,000

(11) 地域との関わり

11月、指宿市内の障害者団体主催の「ふれあいフレンド文化祭」の一員として、市役所内での展示に参加

(12) 受託補助事業

- ・ 鹿児島県・多様な働き方推進モデル創出事業 883,568円
- ・ 障害福祉サービス施設・事業所等における感染防止対策支援事業 57,000円
- ・ 障害福祉サービス施設・事業所等のサービス継続支援事業 1,013,000円

# 相談支援事業所 ともいき

## 1 重点項目における評価と課題

### (方針1) 危機管理体制を確立しよう

地域の危機管理体制整備に努めます

#### 【評価】

- (1) 厚生労働省の通知による対策の遵守やICTの活用により、コロナウイルス感染拡大防止を可能な限り行うことができた。状況に応じて、リモートワークを実施した。
- (2) 指宿市相談支援部会の議題に災害対策が協議事項としてあがっており、協議が継続している。危機管理課から個別避難計画作成の協力依頼があるかもしれないと連絡があるが、具体的な進展はない。

#### 【課題】

今後もコロナウイルス感染拡大防止の対策は引続き必要なため、厚生労働省通知に基づく感染対策の徹底やICTの活用に努めていく必要がある。

避難行動要支援者に対する個別避難計画作成は整備されていない状況である。災害時対応は引続き自治体との連携に努め強化を図り、計画作成に協力していくことで、利用者が安心して住み慣れた地域で暮らせるよう努める必要がある。

### (方針2) 信頼される社会福祉法人を目指そう

地域における貢献に努めます

#### 【評価】

- (1) 利用者を中心に家族、関係機関、成年後見人と連携して、担当者会議を開催し、可能な限り意思決定支援を推進している。竹山苑の権利擁護委員会、虐待防止委員会にも参画している。
- (2) 基幹相談支援センター設置に向けた協議に積極的に参画し、当該事務局からのヒアリングを受け、人員の派遣、法人としてセンターの受託を検討していた。しかし、南薩4市の協議の結果、4市共同での基幹相談支援センター設置は断念となり、設置検討の協議会も解散となった。今後は、各自自治体での地域生活支援拠点を含めた体制づくりを模索する形となった。
- (3) KGSNの活動は県で全体研修会1回、圏域で菊野病院と南薩圏域相談支援事業所との情報交換会を開催した。オンラインを活用し、NSK九州ブロック代表者会議、KGSN運営会議、NSKによる令和3年度報酬改定勉強会や東海北陸ブロック研修会に参加できた。オンラインを活用することで遠方とも繋がるができる。
- (4) 触法障害者の支援は鹿児島県地域生活定着支援センターのセミナーに参

加した。医療的ケア児の支援は今年度コーディネーターが1名増え、3名となった。うち1名は圏域のアドバイザーとなった。特別支援学校から医療的ケア児の相談依頼があったが、具体的な支援につながっていない状況である。地域移行・定着の支援はないが、精神保健福祉部会で地域住民向けの広報記事の作成や・ピアサポーターの活動を活用した民生委員との合同研修会を開催した。また、県や圏域の精神障害者地域移行・地域定着推進研修会に参加した。

#### 【課題】

来年度より虐待防止委員会が設置義務となる。事業所内だけでなく、法人関連施設と協力して、より一層利用者の権利擁護や意思決定支援を強化していけるように取り組む。

基幹相談支援センター・地域生活支援拠点の整備については、各自治体の方向性を確認し、協議していかなければならない。特に地域生活支援拠点は南薩各市において令和5年度末までの設置目標があり、体制づくりを活性化していく必要がある。

KGSNの活動は今後もオンラインを活用し、ネットワークの維持・拡大、相談支援専門員の質の向上を目指し、活動を継続していく。

生活困窮者・触法障害者等の支援について、これまで実績はないが、今後も関係機関との連携や研修会への参加等努めていく。

### (方針3) 経営の安定化を図ろう

相談支援の資質向上・人材育成に努めます

#### 【評価】

- (1) 昨年度から新たに設けられた加算を含め、可能な限り取得し、支援の質の向上に努めた。
- (2) 社会福祉士養成実習については、感染症対策に努めながら、鹿児島国際大学より1名受け入れることができた。

#### 【課題】

地域生活支援拠点の整備に向けた関係機関との連携及び質の高い体制の整備へ寄与し、さらなる加算取得とともに事業所だけでなく、地域の相談支援の質の向上を目指していく。

実習生の受入れは、感染症リスクが高まる可能性があるが、人材育成の観点からは重要かつ社会的使命と考え、感染対策に努めながら可能な限り受入れを行っていく。

## 2. 主な実績概要

### (1) サービス利用状況

令和2年度		令和3年度	
延べ利用		延べ利用	
計画	166名	計画	145名
継続	403名	継続	408名

### (2) 苦情・相談 なし

### (3) 実習受入（社会福祉士実習）

鹿児島国際大学 1名（8/9～9/8）

### (4) 研修

#### ア 職場内研修

竹山苑に同じ

#### イ 職場外研修

- 4月5日 令和3年度報酬改定勉強会 NSK（オンライン）
- 5月18日 鹿児島県相談支援従事者研修ファシリテーター研修（オンライン）
- 8月10日 鹿児島県相談支援包括化推進員研修（オンライン）
- 16日 県相談支援従事者初任者研修中期\_ファシリテーター研修（オンライン）
- 9月17日 厚生労働省虐待防止権利擁護研修指導者養成研修（オンライン）
- 30日 鹿児島県相談支援従事者現任研修 ファシリテーター研修（オンライン）
- 10月4日 重層的相談支援体制整備セミナー（オンライン）
- 11月2日 菊野病院と南薩圏域相談支援事業所との情報交換会（菊野病院）
- 11日 令和3年度小児慢性特定疾病児支援研修会（指宿保健所）
- 19日 指宿市精神部会研修（指宿市役所）
- 27日 ALS患者の地域生活を支える研修（オンライン）
- 28日 R3年 相談支援東海北陸ブロック研修会 三重大会（オンライン）
- 12月9日 令和3年度九州地区障がい者相談支援事業合同研修会福岡大会（オンライン）
- 19日 社会福祉士実習指導者フォローアップ研修（オンライン）
- 27日 令和3年度 南薩地区地域移行地域定着推進研修会（オンライン）
- 1月21日 令和3年度若年性認知症セミナー（オンライン）
- 2月18日 令和3年度第2回鹿児島県重症難病医療ネットワーク研修会（オンライン）
- 22日 令和3年度 鹿児島県相談支援従事者専門コース別研修（オンライン）

- 25日 令和3年度 鹿児島県地域生活定着支援センターセミナー（オンライン）
- 3月24日 令和3年度精神障害者地域移行・地域定着推進研修会（オンライン）
- 28日 鹿児島県相談支援ネットワーク会議（KGSN）令和3年度 第1回全体研修会

（5）防災対策

竹山苑に同じ

（6）設備管理

購入・工事（10万円以上）

名 称	数 量	金 額
公用車ミライース（竹山苑と按分）	1台	486,794円

（7）地域との関わり

- 6月 4日 KGSN 運営会議（オンライン）
- 19日 NSK九州ブロック代表者会議（オンライン）
- 7月 2日 鹿児島国際大学社会福祉学科ソーシャルワーク実習事前協議会
- 5日 鹿児島県相談支援従事者研修企画運営会議（オンライン）
- 9日 相談支援専門員さんとの面談会 in 指宿養護学校 2021  
南薩地域連絡協議会（オンライン）
- 12日 基幹相談支援センターヒアリング 枕崎市（オンライン）
- 8月 6日 県特別支援学校職員研修会 講師派遣（武岡台養護学校）
- 24日 県相談支援従事者初任者研修中期 講師派遣（オンライン）  
令和3年度第1回地区別幼保小等情報交換会（穎娃）
- 27日 県医療的ケア委託（KGSN）事業打ち合わせ（オンライン）  
令和3年度第1回地区別幼保小等情報交換会（知覧）
- 28日 九州地区主任相談支援専門員研修打ち合わせ（オンライン）
- 9月 22日 県相談支援従事者初任者研修後期 講師派遣（オンライン）
- 27日 九州地区主任相談支援専門員養成研修 鹿児島会場運営（オンライン）
- 10月 1日 九州地区主任相談支援専門員養成研修 鹿児島会場運営（オンライン）
- 6日 県相談支援従事者現任研修 講師派遣（オンライン）
- 11月 1日 県相談支援従事者初任者研修後期 講師派遣（オンライン）
- 5日 県相談支援従事者現任研修 講師派遣（オンライン）
- 12月 1日 南薩地域連絡協議会（オンライン）
- 3日 鹿児島国際大学ソーシャルワーク実習事後協議会（オンライン）
- 6日 県虐待防止権利擁護研修 講師派遣（オンライン）
- 8日 県相談支援従事者現任研修 講師派遣（オンライン）
- 10日 鹿児島県相談支援ネットワーク会議 運営委員会（マリンパレス）
- 16日 鹿児島県障害者自立支援協議会（クロススペースかもいけ）
- 1月 20日 第38回指宿市地域医療介護連携連絡会議（オンライン）

25日 児童発達支援事業所ぶらんこ 就学に関する連絡会  
3月31日 丹波小学校 中学進学に関する引き継ぎ連絡会

毎月1回～指宿市自立支援協議会相談支援部会、こども部会、精神保健部会  
毎月1回～南九州市自立支援協議会相談支援部会

(8) その他実績等

ア 障害支援区分認定調査 (30件)

・指宿市 24件

・南九州市 5件

・枕崎市 1件

イ 指宿市障害者相談支援事業受託

ウ 南九州市障害者相談支援事業受託

# 放課後等デイサービス カラット

## 1 重点項目における評価と課題

### (方針1) 危機管理体制を確立しよう

安心して利用できる居場所を提供します

#### 【評価】

新型コロナウイルスの影響で、地域の小・中・高の学校においても学級閉鎖や休校が相次いで発生した。カラットにおいても12日間営業を休止した。

基本的な感染対策（マスク着用・手指衛生、換気の徹底）を行い、児童が安心して楽しく過ごせるよう努めた。

#### 【課題】

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、感染予防と地域貢献活動の両立について検討・協議が必要である。

発達支援の観点を重視しながら適切で効果的な支援を提供するために、多種多様な活動プログラムについてさらなる検討が必要である。

### (方針2) 信頼される社会福祉法人を目指そう

年齢や発達段階に応じた学習・活動・遊び・楽しみを提供します

#### 【評価】

子どもたちが望む遊びや自分自身をリラックスさせる練習などの活動を自己選択して取り組む経験を積んで行くために、多彩な活動プログラムを用意し、ゆったりとした雰囲気で行なえるよう工夫した。

#### 【課題】

年齢に応じた楽しみや遊び等様々な環境を整える必要がある。また、学習面においても空間を分ける等の工夫も必要である。

### (方針3) 経営の安定化を図ろう

カラットの特色を活かし、求められる施設づくりを目指します

#### 【評価】

地域生活を見据えながら学校で行われている教育活動を踏まえ、方針や役割分担を共有できるように、学校と連携を図りながら支援を行った。

また、カラットの広報誌やフェイスブック等を活用して、活動の風景や様子等を発信した。



【課題】

各関係機関と連携を密にし、情報収集を行いながら利用者ニーズの把握に努め、経営の安定化を図っていく必要がある。

2. 主な実績概要

(1) サービス利用状況

定員	平日		土・祝日		合 計	
	延利用	稼働率	延利用	稼働率	延利用	稼働率
10名	1,018名	52%	346名	36%	1,364名	47%

(2) 事故、ヒヤリハット 2名

(3) 苦情・相談 なし

(4) ボランティア受入 なし

(5) 実習受入 なし

(6) 研修

ア 職場内研修  
竹山苑に同じ

イ 職場外研修

- 1月16日 全国放課後連第47回オンライン研修 2名  
「出会いはタカラモノ 子どもから教えられたことばかり」
- 1月24日 障害者児虐待防止・権利擁護ウェブ研修 1名

(7) 防災対策

- 5月17日 防災訓練（事故発生時対応訓練） 3名
- 6月15日 防災訓練（災害時緊急連絡） 2名
- 8月30日 防災訓練（火災発生時対応訓練） 3名

(8) 設備管理

ア 購入・工事（10万円以上）

名 称	数量	金 額
障害者総合支援システム	1式	706,200円

イ 新規ファイナンスリース

名 称	数量	金 額
ハイエースウェルキャブ	1台	3,808,800円

(9) 地域との関わり なし

# 特別養護老人ホーム 涼松

## 1 重点項目における評価と課題

### (方針1) 危機管理体制を確立しよう

災害や感染症などに対応した危機管理に強い施設を作ります

#### 【評価】

県内の感染者発生状況を注視しながら感染症対策委員会を4回開催し、感染予防対策の周知を図った。また、面会やショートステイ利用基準等の作成、見直しを行い、適宜感染状況に合わせた対応を行った。

これらにより、感染した職員はいたが、施設内での感染者は発生しなかった。

#### 【課題】

感染症や災害発生に備えた備蓄品等の購入において、購入過多や品薄等が生じることがあるため、市場の状況把握に努めながら時宜を得た仕入れを進めていく必要がある。

自家発電機について、老朽化により更新を検討する時期にきているが財政的に厳しい状況にあり、当面維持管理に注力せざるをえない状況である。

### (方針2) 信頼される社会福祉法人を目指そう

家族や地域に安心してもらえる施設を作ります

#### 【評価】

利用者の体調維持管理に努めたが、重度化・高齢化していく施設の中でいったん体調を崩すと施設での対応が難しく、入院加療するケースが数多く見られた。

一方で、コロナ下ではあったが、ご家族等の思いに沿い、3人の利用者が涼松で最期を迎えられた。涼松で看取りができるという理解や安心感が広がっている。

職員体制について、回覧等周知方法の改善を図ったことにより、職員間の情報共有や連携が深まってきている。

#### 【課題】

コロナ下により、家族の面会が思うようにできず、利用者の状態を適切に伝えることが十分にできていない。ウィズコロナの時代に合わせた家族との関りについて検討が必要である。

入院が増えている要因に、レクリエーションや行事の減少に伴い活動が不活発化となって体力低下から病気を引き起こしていることも一因と考えられる。感染予防を図りながら、活動量を上げることができないか検討が必要である。

### (方針3) 経営の安定化を図ろう

職員間で経営意識を共有できる施設を作ります

#### 【評価】

対応困難な方々の受け入れを積極的に進めて稼働率を高めようとしたが、職員体制が整わない中では受け入れが困難という認識が共有化され、ショートステイの受け入れが思うようにできなかった。また、コロナ下で感染対策に重点を置いたことが利用しづらさにつながり、利用が伸びなかった。

入院から退所になるケースが続き、入所手続きが追いつかずに受け入れがスムーズに進まなかった。その結果、空床期間が長期になることがあった。

#### 【課題】

年度初めの職員会議において涼松の経営状況の説明を行い、職員間の共有化を図ったが十分に浸透していない。危機感をもって全職員で経営改善に取り組んで行く必要がある。

## 2. 主な実績概要

### (1) サービス利用状況

事業所名	定員	令和2年度		令和3年度	
		延利用	稼働率	延利用	稼働率
入所	50名	16,548名	90.7%	15,876名	87.0%
短期入所	10名	573名	15.7%	587名	16.1%

### (2) 事故、ヒヤリハット

ア 事故 85件 (内 6件 行政報告)

イ ヒヤリハット 67件

### (3) 苦情・相談 1件

10月26日 (利用者より)

### (4) 家族等の面会

年間回数	0	1	2~5	6~11	12以上	計
人数	22	13	15	7	3	60

### (5) サークル活動 なし

### (6) ボランティア受入 なし

### (7) 実習受入

鹿児島国際大学 1名 (相談支援事業所ともいきから依頼 オンライン対応)

## (8) 研修

### ア 職場内研修

- 4月21日 コンプライアンス
- 5月27日 食中毒
- 6月23日 身体拘束
- 7月15日 褥瘡
- 8月25日 医療的処置
- 9月22日 人生会議 (ACP)
- 10月27日 感染症
- 11月17日 事故防止
- 12月15日 身体拘束
- 1月19日 認知症
- 2月16日 緊急時対応
- 3月23日 権利擁護

### イ 職場外研修

- 4月20日 外国人留学生支援事業に係る説明会 (オンライン) 1名
- 6月08日 第1回理事長施設長研修会 (オンライン) 1名
- 6月18日 スキルアップリーダー研修会 (オンライン) 1名
- 7月27日 精神疾患と認知症研修会 (オンライン) 1名
- 8月13日 南薩地域給食施設連絡協議会 全体研修会 (オンライン) 1名
- 8月18日 メンタルヘルスと高齢者虐待防止研修 (オンライン) 1名
- 10月26日 摂食嚥下障害と認知症ケア研修 (オンライン) 1名
- 11月30日 人材有効活用研修 (オンライン) 2名
- 12月10日 口腔ケア研修 (菊野病院) 2名
- 1月14日 多職種連携合同研修会 (オンライン) 1名

## (9) 防災対策

### ア 防災訓練

- 7月14日 防災教育
- 8月16日 風水害対策
- 10月18日 不審者対応訓練
- 10月21日 夜間非常事態職員呼集連絡網確認訓練
- 12月10日 昼間火災想定避難訓練
- 12月16日 非常災害対応机上訓練
- 2月20日 地域合同総合防災訓練
- 3月23日 今年度の反省と来年度の計画
- 3月29日 夜間火災想定避難訓練

### イ 消防用設備等点検

- 4月12日 松崎消防商事
- 10月07日 松崎消防商事

(10) 設備管理

購入・工事 (10 万円以上)

名 称	数量	金 額
医務室用小型電気温水器	1 式	121,000 円
外国人居住用建物	1 件	200,000 円
外国人居住用土地	1 件	1,800,000 円
リフト付シャワーキャリー修理	1 式	206,580 円
便器取替工事	1 台	139,700 円
漏水修理	1 式	108,000 円

(11) 地域との関わり (一部再掲)

- 4 月 17 日 学習支援
- 6 月 19 日 学習支援
- 7 月 12 日 そよ風事業 高齢者を理解する福祉の授業 (オンライン)
- 7 月 17 日 学習支援
- 9 月 03 日 そよ風事業 ポスター・標語の審査
- 10 月 01 日 そよ風事業 ポスター・標語の表彰
- 10 月 16 日 学習支援
- 11 月 27 日 学習支援
- 12 月 18 日 学習支援
- 3 月 19 日 学習支援

# 通所介護事業所 岡村さん家

## 1 重点項目における評価と課題

### (方針1) 危機管理体制を確立しよう

安心・安全に努めます

#### 【評価】

- (1) 外部のオンライン研修で学習した感染症対策等について、内部研修で確認、検討するなど施設内の環境作りに努めた。
- (2) 利用者の送迎に関して、トラブル発生の事案はあったが、送迎中の事故、交通違反等なく、概ね適切な対応ができた。  
分遣署立ち会いの消防訓練のほか自主訓練を実施、利用者にも参加いただき、防災意識の向上を図ることができた。

#### 【課題】

- (1) 今後も研修等で知識を高めるなど、感染予防対策の強化を図る。
- (2) 自主訓練の回数を増やし、実際に火災等発生した場合でも迅速かつ適切に対応できるよう訓練していく必要がある。

### (方針2) 信頼される社会福祉法人を目指そう

信頼されるデイサービスを目指します

#### 【評価】

- (1) 職員同士の足並みがそろわないことで利用者に不安を与えてしまうことがあったが、個別の事案にその都度対応し、改善を図った。
- (2) 利用者それぞれに合ったケアを行うための検討会や接遇研修を行うなど利用者サービスの向上に努めた。

#### 【課題】

- (1) 職員間の連携、情報共有のあり方を検討するとともに相談体制を確立する必要がある。
- (2) 統一したケアやサービス向上のために、検討会の定期的な実施や職場内研修の充実を図る必要がある。

### (方針3) 経営の安定化を図ろう

利用者が継続して利用できるよう努めます

#### 【評価】

- (1) 職員・利用者のマスク着用や消毒、アクリル板の活用など、感染症対策を徹底することで、休止することなく、年間をとおして継続利用していただくことができた。
- (2) 地域住民との関りを深めるために、岡村さん家においてそよ風サロンを計画していたが、新型コロナウイルス感染防止対策により実施できていない。

#### 【課題】

- (1) 今後も利用者が継続的に安心して利用できるように、利用者にも協力を呼び掛けながら感染症対策の徹底を継続していくことが必要である。
- (2) 利用者の安定的な確保に資するため、また、地域に身近な事業所であることをアピールするために、広報手段や地域の方々と触れ合える事業内容など検討する必要がある。

## 2. 主な実績概要

### (1) サービス利用状況

事業所名	定員	令和2年度		令和3年度	
		延利用	稼働率	延利用	稼働率
岡村さん家 通所介護	15名	2,945名	62.9%	3,283名	69.9%

### (2) 事故、ヒヤリハット

- ア 事故 1件
- イ ヒヤリハット 13件

### (3) 苦情・相談 3件

### (4) ボランティア受入 なし

### (5) 実習受入 なし

### (6) 研修

- ア 職場内研修  
4月 コロナウイルス感染症について

- 5月 熱中症について
- 8月 接遇について
- 9月 ともいき会議報告
- 10月 感染症・コロナウイルスについて
- 1月 コロナウイルス感染症について
- 2月 コロナウイルス感染症について

イ 職場外研修

- 1月14日 令和3年度南九州市多職種連携合同研修会（オンライン）
- 1月20日 通所部会セミナー  
ハラスメントマネジメント研修会（オンライン）
- 1月28日 動ける日本人育成のための貯筋運動指導者講習会（オンライン）

(7) 防災対策

ア 防災訓練

- 6月22日 防災講話、防火講習（DVD上映）通報機器取扱いについて
- 10月15日 火災想定避難訓練、消火器取扱い
- 2月20日 地震想定避難訓練

イ 消防用設備等点検

- 4月12日実施

(8) 設備管理

ア 購入・工事（10万円以上） なし

イ 新規ファイナンスリース

名 称	数 量	金 額
車椅子仕様軽自動車（スペーシア）	1台	1,794,000円

(9) 地域との関わり なし



# 岡村さん家居宅介護支援事業所

## 1 重点項目における評価と課題

### (方針1) 危機管理体制を確立しよう

災害・感染症発生時に利用者・家族の権利擁護・安全確保ができるようにしていきます

#### 【評価】

定期訪問時に、利用者・家族と台風等災害時における代替サービス利用や介護体制等の対応について確認した。また、コロナウイルス感染症に関して、日常会話の中でのマスク着用や手指消毒等の感染症防止対策の重要性について声掛けも行った。なお、利用者並びに家族のコロナウイルス感染者、感染症疑いの該当事案はなかった。

#### 【課題】

上記内容の定期的な確認や相談対応、感染症防止対策の継続が必要である。さらに、感染症や災害発生時における事業継続計画の策定や高齢者虐待防止に係る指針作成等を進めていく必要がある。

### (方針2) 信頼される社会福祉法人を目指そう

事業所の信頼度が向上するようにしていきます

#### 【評価】

南九州市・指宿市役所介護保険担当部署や地域包括支援センター、医療機関・サービス事業所等と利用者支援に関する情報交換を行った。岡村自治会・その他地域住民からの介護保険申請・サービス利用等に関する相談には親切・丁寧を心掛けて対応し、説明・申請手続き代行等を行った。

利用者・家族へ満足度調査アンケートを令和3年11月に実施し、集計結果を利用者・家族へ送付した。

#### 【課題】

信頼度向上のために各市関係部署や医療機関・サービス事業所との連携や地域住民への親切・丁寧な対応に努めていくことが必要と思われる。満足度調査アンケートについても信頼度向上及び他者評価として継続していくことが必要である。

### (方針3) 経営の安定化を図ろう

関係機関との連携や情報収集に努めます

## 【評価】

地域包括支援センターや医療機関との連携により、新規利用者の依頼や相談が増えてきている。また、県介護支援専門員協議会・支部主催の研修や南九州市主催の研修及び各種会議に参加し、情報収集に努めた。

## 【課題】

経営の安定化のためにはさらなる利用者確保を目指し、関係機関との良好な関係維持並びに介護保険行政の動向に関する情報収集の継続が必要である。

## 2. 主な実績概要

### (1) サービス利用状況

定員	令和2年度	令和3年度
	延利用	延利用
35名	350名（予防 69名）	468名（予防 48名）

### (2) 苦情・相談 なし

### (3) 実習受入

鹿児島国際大学 1名（相談援助実習 相談支援事業所ともいきから依頼）

### (4) 研修

ア 職場内研修 なし

イ 職場外研修

6月25日 南九州市居宅専門部会・研修会

（その他の研修・会議は中止）

10月30日 県介護支援専門員協議会南薩支部第1回研修会（zoom）

11月12日 南九州市颯娃民生委員児童委員定例会

11月13日 県介護支援専門員協議会第2回研修会（zoom）

12月10日 介護支援専門員専門研修Ⅱ

12月24日 介護支援専門員専門研修Ⅱ

1月14日 南九州市多職種連携合同研修（zoom・知覧文化会館）

2月7日 南九州市介護サービス事業所連絡会居宅専門部会研修会（zoom）

2月19日 介護支援専門員協議会南薩支部主任ケアマネスキルアップ研修（zoom）

県介護支援専門員協議会第3回研修会（zoom）

3月18日 南九州市想いをつなぐノートアドバイザー養成講座（zoom）

3月24日 南九州市地域ケア会議

### (5) 地域との関わり そよかぜ事業 ポスター掲示協力